

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 1 報
千葉県農林水産部
平成27年6月3日

過去に例のない生育の早さ

「ふさおとめ」の幼穂形成期は6月10日頃からと予測 穂肥の適期実施を

[生育概況]

4月中旬以降、気温は高く推移し、葉令は過去に例のない早さで進んでいます^(※)。特に、4月20日頃から5月1日頃までに移植したほ場は、茎数が多くなっています。

また、5月10日頃に移植したほ場では、台風による強風の影響から一時的な生育停滞が見られましたが、生育は回復傾向です。

※1998年度以降の水稻作柄安定対策調査ほ「ふさおとめ」の結果から

表 1 品種別の生育状況（6月1日現在）

品種	植付時期	平年比※			
		葉令の進み	草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日頃	早い	やや高い	多い	やや淡い
ふさこがね	4月20日頃	早い	やや高い	多い	並
コシヒカリ	4月20日頃	早い	やや高い	多い	並
	5月1日頃	早い	やや高い	多い	並
ふさのもち	4月20日頃	やや早い	やや高い	多い	並
	5月10日頃	並	並	やや多い	並

※過去5か年（2010～2014年）の平均値との比較

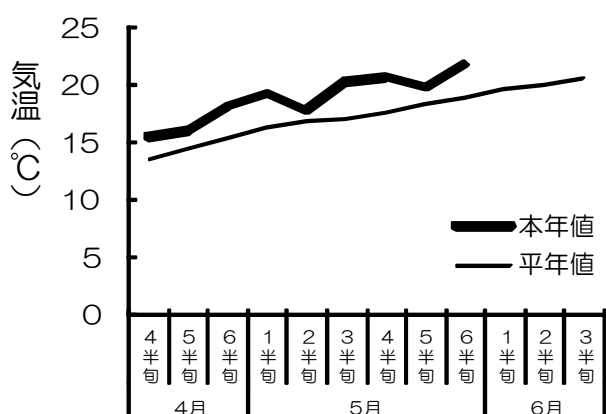


図 1 日平均気温の推移 (アメダス、佐倉)

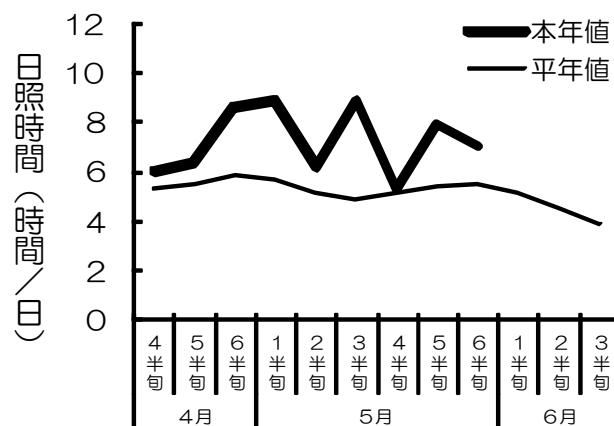


図 2 日照時間の推移 (アメダス、佐倉)

[これからの管理のポイント]

■中干しの徹底と、幼穂を観察し穂肥の適期実施

葉色は平年並からやや淡い傾向を示していますが、茎数過剰が懸念される生育となっています。

4月20日植えの「ふさおとめ」や「ふさこがね」の生育は、平年より5～7日早く、「ふさおとめ」は6月10日頃から、「ふさこがね」は6月13日頃から幼穂形成期（幼穂長1mm）となる見込みです（表3）。

○ 中干しの実施

中干し開始目標茎数は、表2のとおりです。中干し開始目標茎数に達して中干しを実施していないほ場では、速やかに中干しを開始しましょう。排水しにくいほ場では、中干し開始数日後に溝切りを行うと効果的です。

表2 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m ² (27本/株)	480本/m ² (27本/株)	440本/m ² (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m ² (18本/株)	310本/m ² (17本/株)	300本/m ² (16本/株)
	5月1日			

※（ ）内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安

※極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがある

○ 幼穂を観察し、入水と穂肥の適期実施

穂肥は、表3の幼穂形成期予測日頃から幼穂の観察を行い、適期に実施しましょう。特に、「ふさおとめ」は穂肥が遅れると玄米中のタンパク含量が増加し、食味の低下を招くので、穂肥は幼穂形成期（出穂前25日）～出穂前18日（幼穂長が1mm～10mm）に施用しましょう。施肥量は、砂質土や壤質土では窒素と加里を10a当たり成分量で各3kgです。房総南部の粘質土では1～2kgが目安です。

「ふさこがね」の穂肥適期は出穂前18日（幼穂長が10mm）です。施肥量は、窒素と加里を10a当たり成分量で各3kgです。

幼穂形成期の目標生育量は表4のとおりです。葉色が濃い場合は窒素量を減らしましょう。

表3 品種別の幼穂形成期の予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測（月日）			
		県北 （成田市）	九十九里 （茂原市）	内湾 （千葉市）	県南 （館山市）
ふさおとめ	4月20日	6月14日～	6月10日～	6月12日～	6月11日～
ふさこがね	4月20日	6月15日～	6月13日～	6月14日～	6月13日～

※幼穂形成期予測システム（H24 千葉県試験研究成果普及情報）を基に予測

○ 幼穂長の確認

穂肥の適期を判断するために、幼穂を確認しましょう。

ほ場の中で中庸な生育をしている連続した5株程度を選んで、各株の最長茎の幼穂長を測定します、1mmを超えた株の数が測定した株数の8割に達した日が幼穂形成期です。

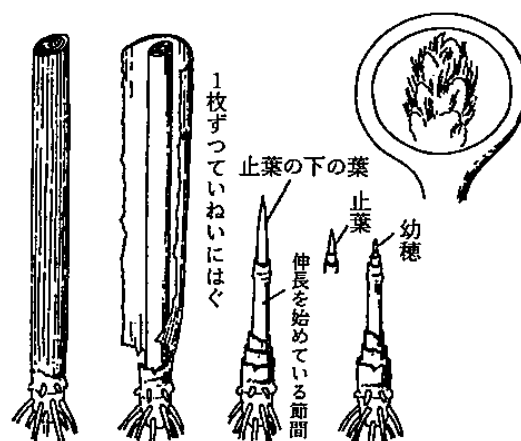


図3 幼穂の確認方法

(出典：農文協 農業技術体系作物編 P134)

表4 幼穂形成期の目標生育量

品種	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)			葉色 (カラー スケール値)
		砂質	壤質	粘質	
ふさおとめ	55 以下	570~620 (31~34 本)		520~570 (29~31 本)	4.0
ふさこがね	60~65 以下	450~500 (25~27 本/株)			5.0

※ () 内は 60 株/坪植えの時の 1 株当たり茎数の目安



図4 ふさおとめ (4月20日植え) 農林総合研究センター (千葉市)

6月2日、最高分けつ期頃の状況。幼穂形成期は6月12日頃と予測

■イネクロカメムシ防除

昨年、一昨年とイネクロカメムシによる白穂の発生で減収した事例が、県南地域で確認されています。6月中旬に畦畔近くの株を中心に、被害株やその周辺の株元を注意深く観察し、発生の多い場合には表5の薬剤のいずれかで防除します。

表5 イネクロカメムシの防除薬剤

薬剤名	使用時期/使用回数	10a 当たり散布量
エルサン粉剤2	収穫7日前まで / 2回	4kg
エルサン乳剤 1,000 倍液		60~150L
スタークル液剤 10 1,000 倍液	収穫7日前まで / 3回	60~150L
スタークル/アルバリン粉剤DL		3kg
スタークル/アルバリン粒剤		3kg
スミチオン乳剤 1,000 倍液	収穫21日前まで/2回	60~150L
スミチオン粉剤3DL	収穫21日前まで/2回・※1	3~4kg

※1 出穂前散布は1回まで

※いずれの薬剤も止水期間は一週間程度とする（千葉県農作物病害虫雑草防除指針より）

※農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍率、収穫前日数、総使用回数などが定められています。ラベルをよく読んで、適正に使用しましょう。



図5 株元に寄生する
イネクロカメムシ（成虫）
（農林総合研究センター病害虫防除課）

■生産履歴は必ず記帳しましょう！

流通業界や消費者からは、いつどのような肥料や農薬を使ったのか等の栽培履歴が分かる米が求められています。信頼される米づくりのため、必ず生産履歴を記帳しましょう。

■飼料用米等の取組計画書の提出期限が延びました！

取組計画書の提出期限が6月末日から「7月末日」までに1か月間延長されました。

本年産においても米価回復の兆しは見えていません。今からでも飼料用米に取り組むことができますので、最寄りの市町村にお問い合わせください。

次回の「水稻の生育状況と当面の対策」は、6月17日に発行予定です。